

第1回兵庫県公立大学法人評価委員会 議事録

1 日時及び場所

(1) 日時 平成28年7月8日(金) 14:00～15:00

(2) 場所 兵庫県公館第2会議室

2 出席委員

石川委員長、瀬川委員、西門委員、西川委員、藤田委員

3 出席職員

(公立大学法人兵庫県立大学)

清原理事長兼学長、伊藤副理事長、太田理事兼副学長、瓦田理事兼副学長、
浅田理事兼副学長、藤原理事、片田副学長、戸田事務局長代行、
釜江経営企画部長、盛山大学改革室長、松本学務部長、奥野所社会貢献部長
(兵庫県)

西上企画県民部長、谷口管理局長、法田大学課長、由良大学課副課長

4 内容

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 出席者紹介

(4) 議事(法人より資料に基づき説明及び意見交換)

①平成27年度の取組及び法人移行後3年間の取組に関する評価(資料1～3)

②平成27年度の財務諸表(資料4)

③平成27年度の利益処分(資料5)

→原案どおり了解

(5) 閉会

5 意見交換の概要(●:委員、○:法人又は事務局)

[平成27年度の取組及び法人移行後3年間の取組に関する評価]

- 組織の再編の方向性については理解できたが、再編後の学部・学科は学生にとってどのような魅力があるのか、また、開設に向けた各年度における具体的な検討内容や工程、さらに、組織再編はどのようなメンバーで検討しているのか。特に学部・学科再編については、第三者の意見等をきいているのか。

グローバル教育について、県立大学では、語学力に加えて、日本や兵庫の地域の良さを理解させることを第一歩と考え、取り組んでいる点については評価したい。

- 現在の経済・経営学部は、もともとの神戸商科大学商経学部を2つに分割したのだが、それを再度、再編しなおして2学部にしようとしている。また、グローバル社会と地域社会で活躍できる人材の育成を目指すとのことだが、「グローバル」と「ローカル」に分ける意義も含め、経済・経営学部の再編の理由と考え方を説明願いたい。
- 情報分野は日進月歩である。情報系大学院の統合の時期について、前倒しすることはできないか。
- キャンパスが県全域に広がる県立大学の経営部門と教学部門を理事長兼学長1人で運営していくことは、非常に難しいことであり、理事長・学長は分離すべきだと思う。ただし、分離型の形態をとるならば、双方が互いに連携して運営すべきである。
地域活性化に向けた県立大学の取組について、具体的な内容は。
- 理事長・学長を分離型することについては理解できたが、分離するのであれば、理事長と学長の責任分担についてルールづくりをするべきである。
また、留学生数の実績があまり伸びていない。法人の評価もそれに見合ったものとなっているものの、評価の際に、量的側面だけではなく、質の面からも評価することが大切である。
a～d、○○の評価の判断基準が分かりにくい。今の評価方法であれば、概ねaかbになり、cやdはほとんどつかない仕組みになっている。実際は2段階評価のようなものである。bとcの基準の乖離が大きいのではないか。

【※法人からの回答は、次回行うこととした。】